

「シン」編集委員 委員長就任のご挨拶 編集委員会、ここに“シン” 発進!

大阪医科薬科大学医師会会報 編集委員長

新田 雅彦



このたび、大阪医科薬科大学医師会会報の編集委員長を拝命いたしました、病院医療安全推進室室長の新田雅彦です。前任の脳神経外科・梶本宜永先生からバトンを受け継ぎ、歴史と伝統を守りつつ、新たな一步を踏み出すこととなりました。

今回の挨拶タイトルに掲げた「シン」には、「新」「真」「親」「心」「深」という五つの意味を込めています。

新：新しい編集体制と新企画への挑戦

真：真摯に医療・学術に向き合う姿勢

親：読者・筆者双方に親しみやすい誌面づくり

心：母校への愛着を育む記事

深：これらを軸に本誌をさらに深め、魅力を増すこと

この五つの「シン」が、これからの編集方針の羅針盤です。

本誌は、会員同士の情報共有や学术交流の場であると同時に、私たちの活動と歴史を刻む大切な記録です。診療科の現状、学生教育や大学の近況、留学記、医療制度・安全管理に関する話題など、多彩な記事が掲載されてきました。その幅広さは、同窓・同僚の顔と声が生き生きと感じられる「医師会のアルバム」であり、未来の医師たちにとっても貴重な財産です。

医療の環境は絶えず変化しています。診療技術の進歩、ICT活用、医療安全・質改善への取り組みなど、新たな課題と可能性が複雑に広がるなか、本誌が担う役割はますます重要です。現場で生まれる工夫や知恵、時代を切り取る研究や経験を形にして残す——それこそが、次の世代への確かなバトンになります。

私たちが目指すのは、本誌を「読む楽しみ」と「伝える喜び」が共存する場にすることです。読者には診療や研究のヒントや仲間の活躍を知る喜びを、筆者には経験や思いを共有し、記録に残す充実感を。そして、この循環が医師会全体の活力を生み出すと信じています。

新体制では、これまでの伝統を守りながら、特集号としての座談会記録、テーマ別連載、新たなリレーエッセイなど、より多くの会員が参加しやすく、役立つ企画を展開していきます。また、大阪府医師会・日本医師会との連携を意識した情報提供を行うとともに、医師会ホームページを活用して、本誌掲載の会員の取り組みや活動を会員以外にも広く発信してまいります。これにより、地域医療における私たちの役割や成果をより多くの方々に知っていただきたいと考えています。

本誌の魅力を高めるためには、会員一人ひとりのご協力が欠かせません。日常診療での気づき、研究成果、現場での課題や提案、学会参加報告など、どんな小さな話題でも結構です。本誌を通じて皆さまの声を届けていただければ、それが誌面に深みを与え、会員同士の絆を強める力になります。

最後に、これまで本誌を支えてくださった歴代編集委員長、委員の先生方、そして多くの寄稿者の皆さまに心より感謝申し上げます。「シン」編集委員会として、読み応えがあり、皆さまの心に残る雑誌を目指し、編集委員一同、全力で取り組んでまいります。今後とも温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。